

## 平成 25 年度ワカサギ漁期前調査

### —調査結果報告書—

#### 1 目 的

霞ヶ浦北浦におけるワカサギ漁解禁前の資源状況を漁業者とともに確認する。

#### 2 調査方法

##### 1) 調査日

ア 霞ヶ浦：平成 25 年 6 月 26 日，曇り（平成 24 年は 6 月 27 日に実施）

イ 北 浦：平成 25 年 7 月 3 日，曇り（平成 24 年は 7 月 4 日に実施）

##### 2) 調査場所（図 1）

ア 霞ヶ浦 4 水域：湖心，牛渡沖，沖宿沖，八木蒔沖

（曳網層は，湖心では表層と底層，その他では底層のみ）

イ 北 浦 4 水域：水原沖，白浜沖，江川沖，馬渡沖

（曳網層は，水原沖では表層と底層，その他では表層のみ）

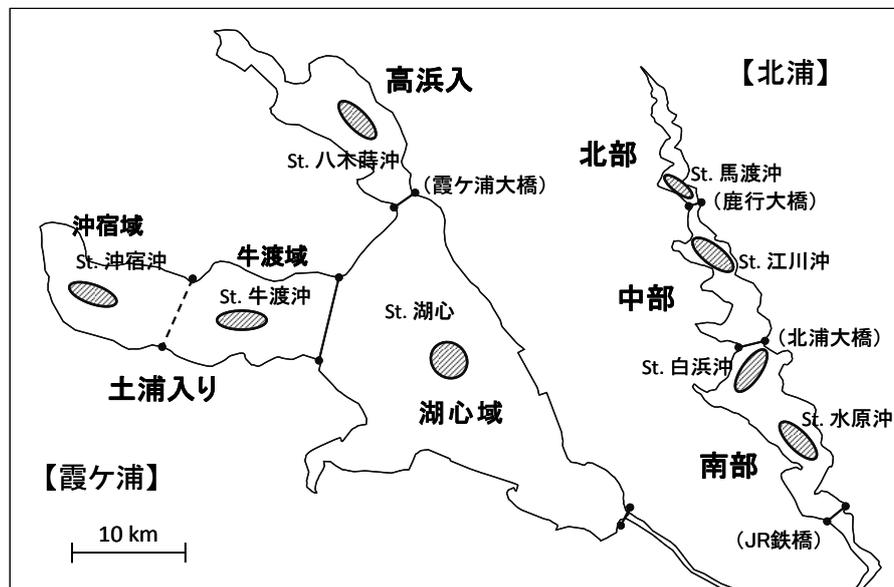


図 1 霞ヶ浦北浦における調査地点と水域名

#### 3 採集方法

漁具は「わかさぎ・しらうおひき網」を用いた。

曳網時間は 20 分間を基本とし，馬渡沖のみ 10 分間とした。

（※本報告書での馬渡沖のデータは 20 分間あたりの換算値を用いている）

# 結果－霞ヶ浦

## 1 採捕重量と採捕尾数

最も多く採捕されたのは沖宿沖で(86.0 kg, 52,860尾), 続いて湖心(83.1 kg, 55,854尾), 牛渡沖(63.4 kg, 40,852尾), 八木蔦沖(50.0 kg, 34,176尾)となった。

採捕重量を昨年と比べると, 湖心\*及び沖宿沖では 2.3 倍, 牛渡沖では 1.7 倍多く採捕されたが, 八木蔦沖は 0.7 倍であった(図 2 上図)。

採捕尾数を同様に比べると, 湖心\*では 1.2 倍多く採捕されたが, 沖宿沖は昨年並み, 牛渡沖では 0.8 倍, 八木蔦沖では 0.3 倍であった(図 2 下図)。

注) 文中「湖心\*」については表層と底層の合計値で比較している。

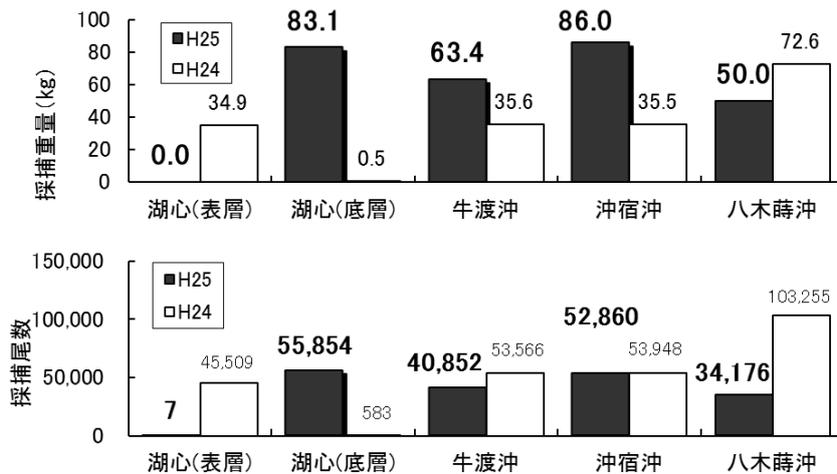


図 2 今年と昨年の霞ヶ浦における採捕重量(上図)と採捕尾数(下図)

## 2 魚体の大きさ

平均体長は 5.1~5.3 cm, 平均体重は 1.5~1.6 g であり, 昨年より体長で約 1 cm, 体重で約 0.8 g 大きかった(表 1)。なお, 各地点での体長組成は下図のとおり(図 3)。

表 1 体長・体重比較表(霞ヶ浦)

	H25		H24	
	体長(cm)	体重(g)	体長(cm)	体重(g)
湖心	5.1	1.5	4.3	0.8
八木蔦沖	5.2	1.5	4.2	0.7
牛渡沖	5.2	1.6	4.1	0.7
沖宿沖	5.3	1.6	4.1	0.7

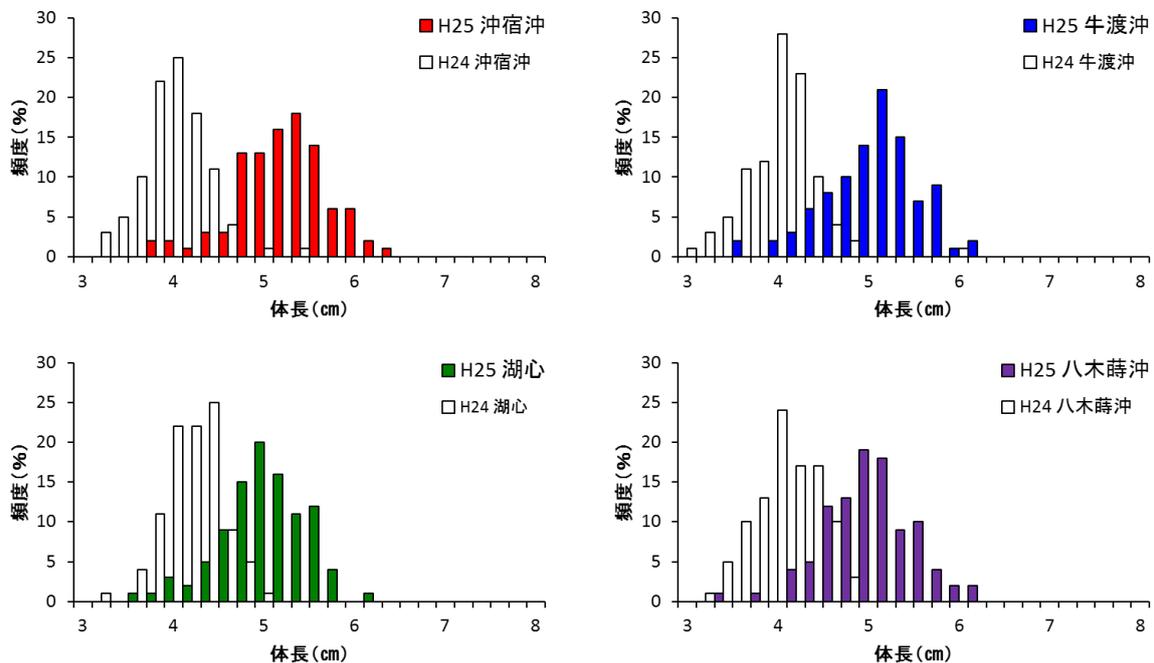


図 3 今年と昨年の霞ヶ浦各地点における体長組成

### 3 ワカサギの資源水準

採捕個体数から面積密度法を用いてワカサギの資源水準値(PLI(重量))を算出した。

霞ヶ浦全体の PLI(重量)は2,091 となり、昨年(平成24年)の1.8倍で、過去最高の水準となった(図4)。

同様に各水域別にみると、昨年(平成24年)に比べて湖心及び沖宿域では2.3倍、牛渡域では1.7倍と高く、高浜入のみ0.7倍であり、湖心及び沖宿域の増加が顕著であった(図5)。

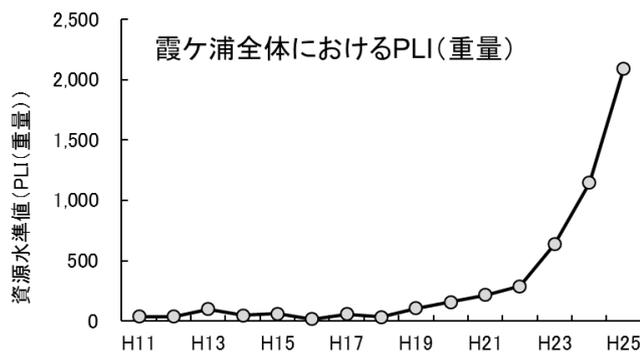


図4 霞ヶ浦全体における PLI (重量)

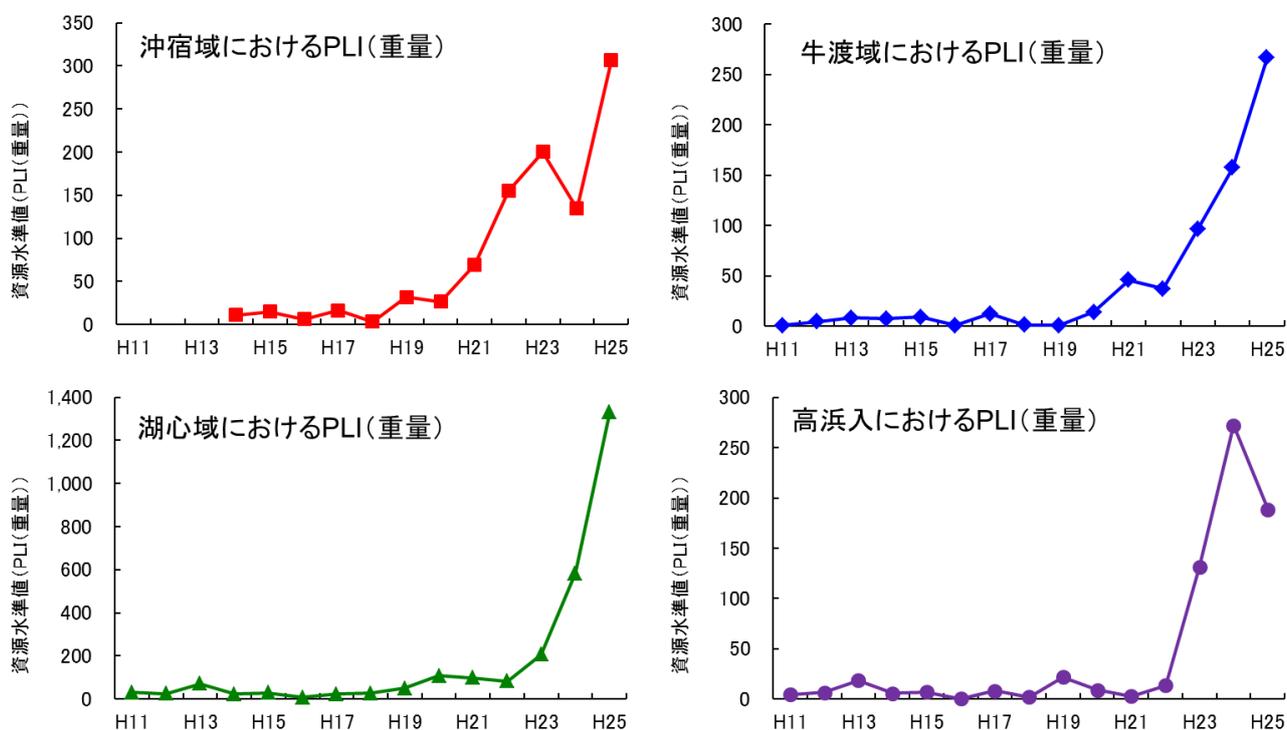


図5 霞ヶ浦各水域における PLI (重量)

### 4 漁模様について

霞ヶ浦全体の PLI(重量)及び魚体サイズともに、豊漁であった昨年を上回っていることから、今期についても、引き続き豊漁が期待されると考えられる。

<b>【参考】 解禁日に1隻1時間あたりに期待できる漁獲量</b>	
今年(平成25年)	212 kg/時間・隻(底曳き)
昨年(平成24年)	134 kg/時間・隻(表層曳き)
一昨年(平成23年)	95 kg/時間・隻(底曳き)

# 結果－北 浦

## 1 採捕重量と採捕尾数

最も多く採捕されたのは馬渡沖で (41.5 kg, 31,934 尾), 続いて江川沖 (25.3 kg, 18,064 尾), 水原沖 (17.6 kg, 10,338 尾), 白浜沖 (10.8 kg, 7,709 尾) となった。

採捕重量を昨年と比べると, 江川沖では 1.5 倍多く採捕されたが, 水原沖は昨年並み, 白浜沖及び馬渡沖では 0.5 倍であった (図 6 上図)。

採捕尾数を同様に比べると, 江川沖は昨年並み, 水原沖では 0.8 倍, 白浜沖では 0.5 倍, 馬渡沖では 0.3 倍であった (図 6 下図)。

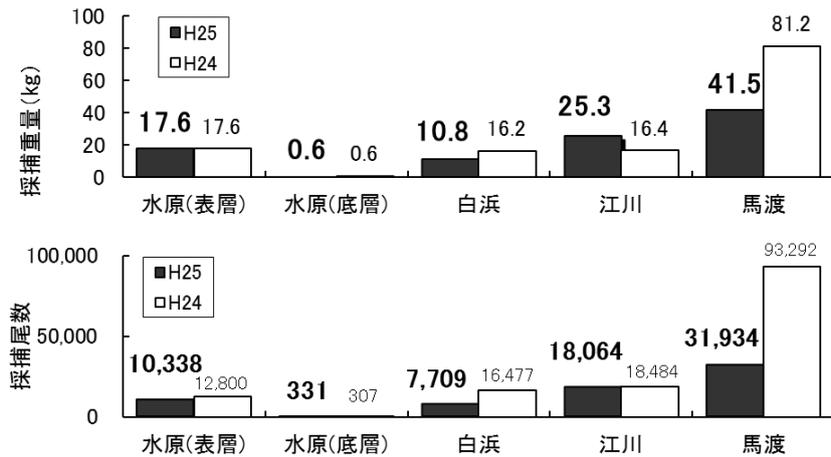


図 6 今年と昨年の北浦における採捕重量 (上図) と採捕尾数 (下図)

## 2 魚体の大きさ

平均体長は 5.1~5.4 cm, 平均体重は 1.3~1.7 g であり, 昨年より体長で約 0.4 cm, 体重で約 0.4 g 大きかった (表 2)。なお, 各地点での体長組成は下図のとおり (図 7)。

表 2 体長・体重比較表 (北浦)

	H25		H24	
	体長 (cm)	体重 (g)	体長 (cm)	体重 (g)
水原沖	5.4	1.7	5.2	1.4
白浜沖	5.1	1.4	5.0	1.2
江川沖	5.1	1.4	4.6	0.9
馬渡沖	5.1	1.3	4.4	0.9

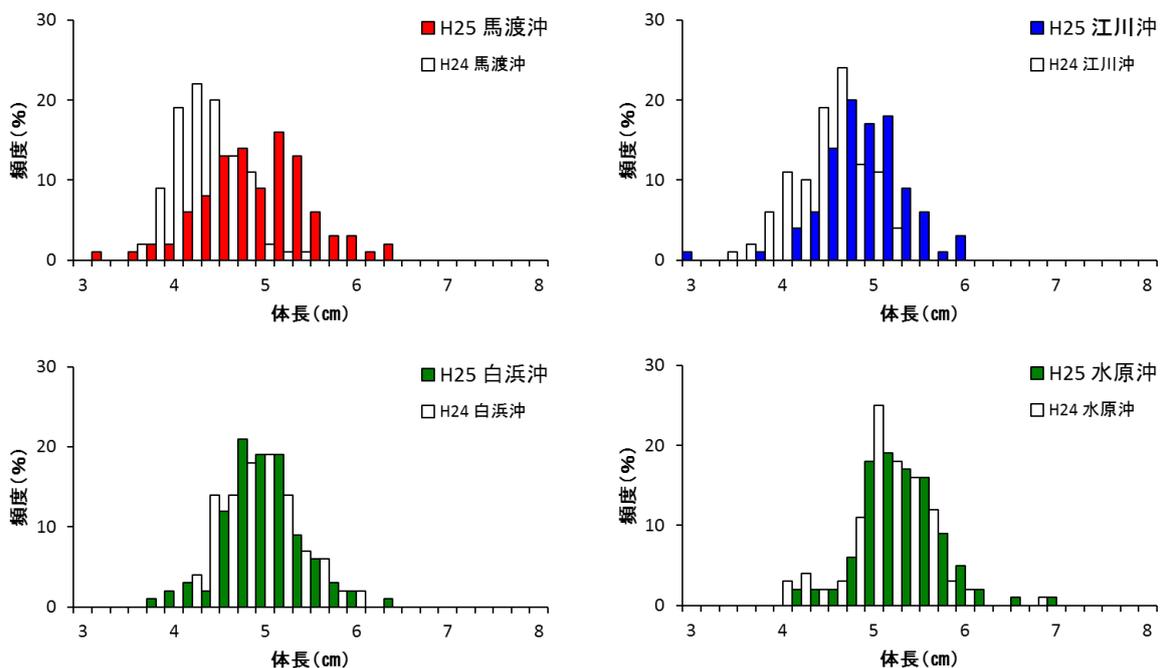


図 7 今年と昨年の北浦各地点における体長組成

### 3 ワカサギの資源水準

採捕個体数から面積密度法を用いてワカサギの資源水準値(PLI(重量))を算出した。

北浦全体の PLI(重量)は117となり、今年の0.8倍の水準であった(図8)。

同様に各水域別にみると、今年に比べて中部では1.5倍と増加したが、北部では0.5倍、南部では0.8倍とやや減少した(図9)。

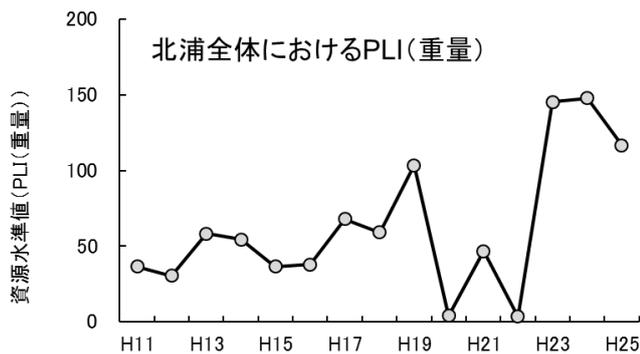


図8 北浦全体における PLI (重量)

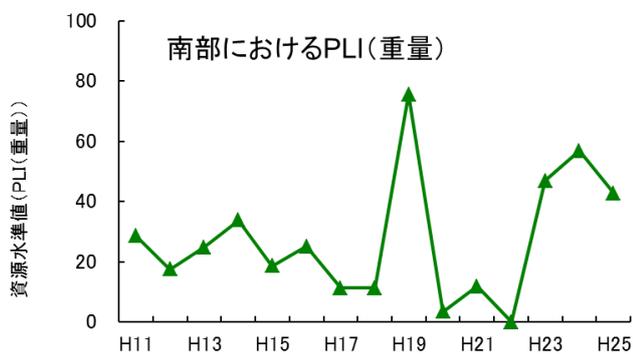
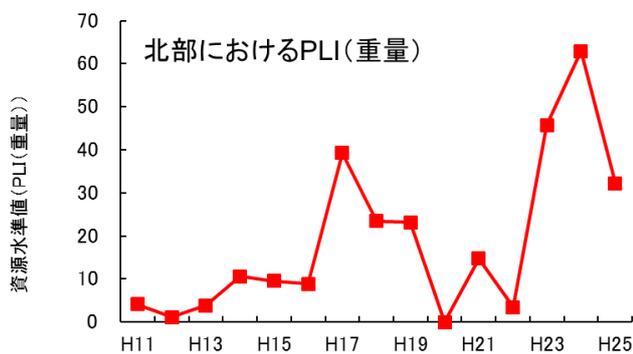


図9 北浦各水域における PLI (重量)

### 4 漁模様について

北浦全体の PLI(重量)は昨年より減少したが、豊漁が続く過去2年間の値と同水準である。さらに、魚体サイズは昨年を上回っていることから、引き続き好漁が期待されると考えられる。

**【参考】 解禁日に1隻1時間あたりに期待できる漁獲量**

- 今年(平成25年)・・・71 kg/時間・隻(表層曳き)
- 昨年(平成24年)・・・99 kg/時間・隻(表層曳き)
- 一昨年(平成23年)・・・93 kg/時間・隻(表層曳き)